

ステージアップ

主な記事

Stage Up

- ・生田緑地ばら苑 開苑60周年
天空の楽園を支える
「ばら苑ボランティア会」
- ・歴史を伝え、平和な未来のために
「川崎市折鶴の会」森政忠雄さん
- ・財団情報「寺子屋先生」養成講座
- ・2018年度川崎市生涯学習財団
主催の講座・イベント年間予定表

詳細・他記事等

◆ 施設めぐり

- ・大山街道ふるさと館
- ・子ども夢パーク
- ・麻生市民館

◆ 情報ポケット

- ・2018年度
生涯学習財団の
主な事業
- ・春の☆キラリ文化教室
受講生募集
- ・お楽しみコーナー
クイズに答えよう!

◀ 生田緑地ばら苑
多摩区长尾2-8-1
撮影日
2015年5月21日



<インターネット川崎ガイド>シリーズ① 生田緑地ばら苑

生田緑地ばら苑は、春と秋の年2回無料開放しております。春の開苑期間中(5月中旬~下旬)は、多種のバラをご覧ください。ばら苑ボランティア会のみなさんは、年間を通してそれらのバラの世話をしています。

【インターネット川崎ガイドでは、川崎市全域の公共施設、観光・散策スポット等の写真約10,000件を、著作権フリーで公開しています】

インターネット川崎ガイド

検索



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

http://www.kpal.or.jp/ E-mail:stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

生田緑地ばら苑 開苑60周年 天空の楽園を支える「ばら苑ボランティア会」

市民の心を癒す ばらの花

天空の楽園と言われている「生田緑地ばら苑」(以降「ばら苑」と略します)の歴史は古く、開苑は1958(S33)年にさかの



▲バラと花の女神フローラ像

き継いでいます。

生田緑地の中に位置するばら苑は、周囲を多摩丘陵の樹林地に囲まれ、360度の緑のパノラマと清涼な空気を体感できる心も身体も癒すことのできる花園となっています。

毎年、春と秋の2回の一般開放が行われ年間で約10万人の来苑者が訪れています。

ばら苑ボランティア会の活動



▲ つるバラの作業

同会は、春の開苑(5月中旬から5月下旬)と秋の開苑(10月中旬から11月上旬)に向け、年間を通して作業を続けています。

主な作業は①バラの育成管理(除草、芽かき、凋花切[ちょうかき]、施肥、中耕、側蕾取り、剪定等)②ばら苑及び周辺の維持管理(除草、芝生管理、樹木管理、清掃等)③開苑期間中の業務(来苑者の受付及び来苑者数の把握、募金の受付等)です。

原則、週3日で10時～12時の時間帯に作業しており、2002(H14)年から入会している会員を含め、常時活動している方は30～40名程います。会員は約150名(2018年1月現在)です。



▲ 防草シート張りの作業

今年1月下旬には、大雪が降りましたが、陽だまりで雪の少ないところからバラの手入れをしていました。

バラを剪定していた会員は、「形の整ったバラにするためには、時間をかけてしっかり世話をしなければいけません。特に小さなバラは、剪定する箇所特に気をつかいます。」と話していました。



▲ 冬の作業の様子

ボランティアのやりがい



▲ 前山さん(左)と大川さん(右)

11月と1月、ばら苑の大川弘苑長と同会の前山英二会長からお話を伺いました。大川さんは、「ボランティアのみなさんのおかげで、ばら苑が成り立っ

っており、毎年美しいソバラを観ることができます」「交通費なし・無報酬で都内等遠くから通ってくださる方もいます」と、同会へ感謝していました。また、前山さんは、「ボランティアの方々は、健康のため(階段を登ることができる間は活動をつづけたい)・社交場(コミュニティの場)・バラが大好き・育て方や地植えを学びたい・バラを観たり育てたりしたい」等、同会会員のみなさんの活動への思いについて話していました。

好評なイベント

一般開放時に行っている「バラの写真展」「バラに関する講習会」「ボランティアガイド」「ばら苑コンサート」等はどれも好評で、ばら苑の一般開放を盛り上げています。

ばら苑一般開放の開催期間等の詳細は、ホームページで詳しく紹介しており、5月からの開苑が楽しみです。

2018年春の「ばら苑」一般開放 開苑は5月中旬～下旬

場所：川崎市多摩区長尾 2-8-1

交通：小田急線向ヶ丘遊園南口から徒歩、JR 南武線宿河原駅から徒歩、登戸駅からバス(藤子・F・不二雄ミュージアム行き)等

開苑時間：月～金は10時～16時30分、土・日・祝日は9時～16時30分(最終入場は16時)

問合せ：生田緑地ばら苑管理事務所

044-978-5270 (開苑期間中)

歴史を伝え、平和な未来のために 「川崎市折鶴の会」森政忠雄さん

「川崎市折鶴の会」(以降「同会」と略します)は1965(S40)年に市内在住の広島・長崎被爆者により「政治的・思想的・宗教的立場を越えて被害者のための団体」として結成されました。現在の主な活動は「戦争の悲惨さ・被爆の忌まわしさ・平和と命の尊さ」を次世代に継承する平和教育のための講演と、毎年「世界平和と核兵器廃絶を祈って」多摩総合庁舎



▲「折鶴交流会」

で行う『市民との折鶴交流会』です。今年も6月に実施予定で、作成した折鶴を、8月に行われる広島・長崎の原爆記念式典でそれぞれ4千羽献納します。同会、森政忠雄会長は広島市出身で11歳(小学校6年生)の時に爆心地から3.7kmの国民学校で被爆し、現在84歳です。森政さんは被爆59年目まで被爆の惨状を家族にさえ話すことはありませんでした。理由は只一つ、語ればあの残酷な阿鼻叫喚の地獄図を思い出し、耐え難い苦痛を覚えるからです。しかし戦後59年目の夏、小学校5年生の孫に「広島平和記念資料館で学んだことを夏休みの自由研究でお友だちに教えたい。原爆のことをもっと詳しく教えて」と言われました。孫の頼みでは語るしかなく、後日「おじいちゃんこれでいい?」と届いた作文は、「戦争と被爆の忌まわしさ、平和と命の尊さ大切さ」を的確に捉えていることに感銘しました。小学生が友だちに伝えると言っているのに、思い出するのが嫌で語らずにいるのは、生かされている者としてどうかと反省し、機会があれば戦争を知らない世代へ被爆の悲惨さを語り継いでいくべきではないか、と沈黙を破り、語り部を始めて今年13年目を迎えました。

一昨年、アメリカ留学の帰国中に森政さんの話を聞いた女子大学生は、卒業論文が歴史部門で最優秀賞受賞、首席で卒業、更にオランダの大学院で研究を重ね、現在は「核兵器廃絶と平和の大切さ」を世界へ伝承しています。昨年は広島と横浜の市立中学校、川崎市主催『平和を語る市民の集い』、川崎市教育委員会主催『平和・人権学習』等、今年も川崎市教職員会館主催の市民文化講演会『今、伝えたい平和の願いー折り鶴の証言ー』等で講演し、参加者から「平和とは?を考えていきたい」「このような話はもっと広げていきたい」「話の内容が具体的に理解しやすかった」「忠実で公平、客観性のある講演内容だった」等、多くの感想が寄せられました。



▲ 会のマーク

教えることは教わること

中学校で講演を初めた頃は、被爆者の立場で大量無差別殺戮の原爆を投下したアメリカに対し、非人道的だと怒りと憎しみを重点的に伝えて来ましたが、講演後の生徒の感想文に「何故アメリカと戦争したのですか」「なぜ原爆が落とされたのですか」「未然に防ぐことは出来なかったのですか」「何故多くの中学生が犠牲になったのですか」「その時代の生活は?教育は?」等、多くの質問が出ました。その質問にきちんと答える過程で、被爆者意識で一方的にアメリカを非人道的と非難することは恨みと憎しみを増幅して継承することになり、平和教育としては偏り過ぎていることに気が付きました。そこで、正しく継承するためには、薄れつつある戦争の歴史について、記録と記憶を多面的に検証し、自ら反省すべき点は反省し、公平に客観的に語ることの重要性を学びました。戦争を知らない世代に戦争用語は難解なので、被爆の実相もリアルに視覚に訴え、より理解を深めてもらおうと会員の協力を得て作成した映像も使用しています。



▲ 森政忠雄さん



▲ 講演の様子

「世界との友好を求める未来志向の時代に、憎しみを伝えるだけでは教育にならない。相手を理解しようとするのが大切だ」また、「いくら高尚なことでも相手に伝わらなければ意味がない。子どもには子どもがわかる言葉で伝えるのが大切」と森政さんは言います。

地域での活動を広げたい

今の子どもたちに同じ辛い経験を求めるのではなく平和の有り難さを知り、二度と同じ過ちを繰り返さないためにはどうしたらよいか、森政さんの話を聞いた人が戦争のない平和と命の大切さを学び、互いに理解し合うことについて考え、学習の輪を広げるために活動を続けています。自分が住む川崎でより多くの学校や場所で一人でも多くの人に聞いてもらい、皆が平和について考え、家庭や様々な所で子どもへと継承されていくことを願っています。

川崎市は核兵器廃絶平和宣言都市です。同会は戦後50周年、会設立30周年の1995(H7)年に、中原区平和公園に祈念石碑の寄贈と植樹をしました。結成時500人いた会員は高齢化が進み平均年齢は80歳超、年々減少し現在は96名です。



▲ 会有志の皆さん
祈念石碑と植樹の前で

■ 問合せ E-mail: kawasakiorizuru@gmail.com



「寺子屋先生」養成講座



地域の寺子屋事業

川崎市教育委員会が2014(平成26)年度よりスタートした「地域の寺子屋事業」により、「寺子屋」が川崎市内で次々に開かれています。「地域の寺子屋」とは、学校の施設を利用して小学生の学習支援を週1回平日の放課後に実施する〈学習支援〉と月1回土曜日等に行う〈体験学習〉の2種類で構成されています。「寺子屋先生」養成講座は、週1回実施の学習をサポートする「寺子屋の先生」を養成する講座です。現在約38の寺子屋が開講しています。

平成30年度は、市内7区全てにおいて「寺子屋先生」養成講座を9期実施します。当財団は、教育委員会から委託を受け、この講座の運営に携わっています。どの期の講座でも受講できますので、ご都合のよい講座を見つけてお申し込みください。



新しい生き方の一つとして「寺子屋先生」でご活躍してみたいかがでしょうか。

〈地域の寺子屋先生への動機〉

- ・私にとっては未知の領域ですが、大変関心があります。子どもの為というよりは私の今後の人生に役立つのではないかと思います。
- ・3年余前に企業を退職しました。地方出身者のため地元との結びつきがありませんでしたので、何か地域で役立つことができないかと思っています。
- ・将来の子どもたち一人ひとりが幸福になるための力を育ててほしいと切に願っています。そのためには基礎学力を身に付けることは欠かせません。学校の授業でつまづいていたら間に合ううちに少しでもお手伝いできたらと思いました。等々

新しい生き方を探る

「寺子屋先生」養成講座を受講する方々の動機となっているのは、やりがい・生きがいを求めていることではないでしょうか。キャリアを生かし新しいキャリアを求めながら、寺子屋で子どもたちと関わる中で、新しい生き方を探っているようです。地域の中で、仕事から離れても、子どもとふれあいながら、子どもたちの豊かな育ちに関与しているという思いを持ち、自分の生き方に新しい目的を追加したいということもあるようです。

〈2018(平成30)年度「寺子屋先生」養成講座予定〉

期	会場	日程	受付期間
第1期	生涯学習プラザ	4月18日・25日、5月9日・16日	1月26日～4月4日
第2期	麻生市民館	5月23日・30日、6月6日・13日	1月26日～4月4日
第3期	幸市民館	6月20日・27日、7月4日・11日	1月26日～6月6日
第4期	宮前市民館	9月5日・12日・19日・26日	4月5日～8月22日
第5期	高津市民館	10月3日・10日・17日・24日	4月1日～9月19日
第6期	生涯学習プラザ	10月6日・13日・17日・20日	4月1日～9月21日
第7期	多摩市民館	10月31日、11月7日・14日・21日	8月1日～10月17日
第8期	教育文化会館	11月28日、12月5日・12日・19日	8月1日～11月4日
第9期	生涯学習プラザ	1月21日・28日・30日、2月4日	8月1日～12月26日

開催時間帯は、寺子屋見学日のみ午後の実施です。(各講座全4回)

「寺子屋先生」養成講座の内容(概要)

- ①目標について
- ②寺子屋事業で行う内容
- ③子ども達を取り巻く現在の環境
- ④寺子屋学習教室の流れ・進め方
- ⑤寺子屋と学校との関わり
- ⑥スキルアップ
こんな時にどう対応する?(学習、生活行動)
- ⑦寺子屋学習で使う教材
- ⑧寺子屋先生になるには
- ⑨寺子屋関係者から、実施寺子屋の様子報告
- ⑩学校関係者から見た寺子屋事業(寺子屋事業への期待)
- ⑪寺子屋見学

◆申込方法

はがき、ファックス、電話、ホームページ、川崎市生涯学習プラザ窓口で。
必要事項 ①第〇期「寺子屋先生」養成講座申込 ②名前(ふりがな)・年齢
③郵便番号・住所 ④電話番号 ※ホームページからの申込みの方はメールアドレス必須(「寺子屋先生」養成講座からお申込みください)
受付期間内であればどの講座でも申し込みができます。
その際に「第〇期申込」とお伝えください。



寺
ッ
コ
デ
す

寺子屋先生養成講座 川崎市生涯学習財団

検索

〈地域の寺子屋事業 Q & A〉



- Q1: 寺子屋先生になるには教員の資格が必要ですか。
A1: 寺子屋先生は子どもの主体的な学習を支援する立場ですので、資格は必要ありません。実際の寺子屋の学習においては、一緒に考えたりサポートしたりすることを大切にして、「学ぶ楽しさを実感する」「自学自習の習慣づけ」等をめざしています。
- Q2: 寺子屋学習にはどのような子どもが参加するのですか。
A2: 寺子屋学習は年度ごとの登録制となっています。学校や塾、そして家庭とは違う環境に関心を持つ子もいれば、普段とは異なる交流や人とのふれあいに期待を示す子もいます。希望する子は登録できますので、様々な子どもたちが参加しています。特別支援級に在籍する子が通う寺子屋もあります。また学力に課題がある子だけを対象としているわけではありません。
- Q3: 寺子屋先生の登録方法はどのようにすればいいですか。
A3: 養成講座の時に配布される「地域の寺子屋事業協力者登録票」に記入して提出するか、電話で教育委員会に連絡をしてください。
- Q4: 無償ですか。
A4: 交通費程度の謝礼をお支払いしています。そのためお住まいの近くの寺子屋を紹介しています。

「寺子屋すみよし」の寺子屋先生

午後3時15分から寺子屋学習が始まるため、スタッフは午後2時半に集合という約束です。しかしその時間前に既にほとんどのスタッフが図書室に集まり、今日子ども達に提示するプリントを選んでいきます。自分で問題を解いたり、仲間と確認したりする様子は毎回のことです。その表情は、「あー、今の子どもはこのような問題を解いているのだ」と嬉しく、楽しそうです。教えるためにプリントを事前に解いているというより、子どもたちとふれあいながら一緒に考えていきたいという思いのようです。「この問題がいいと思うのですが、どうでしょう」と選んだプリントに自信と責任をもっていることが伝わってくる場面もありました。

用意している数枚のプリントから選ぶのは子どもたち自身です。問題を見て関心や興味のあるものを選びます。スタッフはその解答している子どもの表情等を見ながら、時には声をかけ、時にはそっと見守ります。自主的に学習に取り組む子どもの力を伸ばそうとしています。教え過ぎず、でしゃばり過ぎないことを心がけています。スタッフの人数の多少に関わらず、連携の充実により手厚い支援体制となっています。



問合せ・申込先

〒211-0064川崎市中区今井南町28-41 川崎市生涯学習プラザ内
(公財)川崎市生涯学習財団事業推進室「寺子屋先生」養成講座
担当TEL 044-733-6626 FAX 044-733-6697



▲ JAXA 水ロケット



▲ ドイツゲーム

施設めぐり

当財団が管理運営する施設と市内公的施設の紹介

高津区

大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口駅・東急田園都市線溝の口駅下車徒歩7分
東急田園都市線高津駅下車徒歩5分 Tel 044-813-4705

歴史をつなぐ・人をつなぐ

大山街道は江戸への物資輸送や大山信仰の旅人で賑わった道として広く知られています。ふるさと館はこの街道沿いに位置する資料館として、地域の歴史・民俗等に関する資料や郷土にゆかりのある人の美術、文学等の展示や市民の方々にさまざまな学習の場を提供し、郷土の理解や地域の活性化に寄与する事業を行っています。また、会議室等の貸出もしています。

平成30年度 主な事業

- ◆「歴史探究講座」(9/15、10/13、2/23の3回)
大山道シリーズ(大山詣Ⅰ・大山詣Ⅱ・大山詣Ⅲ)
- ◆「街道学習講座」大山街道の魅力を体感
1回(4/26,5/10,5/31)赤坂御門から用賀まで
2回(10/25,11/8,11/22)用賀からあざみ野まで
- ◆「ふるさと発見講座」(5/20、12/4の2回)「武陽玉川八景」 ▲街道学習講座
- ◆「ふるさとまち歩き講座」(5/17,10/12,1/25の3回)
まち歩きをしながら地域の歴史を学ぶ(上作延方面、久末方面、末長方面)
- ◆「街のマイスター講座」(5/20,2/6,3/2の3回)
(お米講座、お酒講座、コーヒー講座)
- ◆「ふるさと館まつり」(5/20春の館まつり、11/25,2/23~3/1の3回)
- ◆「ミニふるさと発見展」(4・9・1月の3回)



▲街道学習講座

①新作・千年村の歴史 ②蟹ヶ谷村の歴史 ③下野毛村・宇奈根村の歴史

高津区

子ども夢パーク

JR南武線津田山駅下車7分 Tel 044-811-2001

子どもが自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける居場所

「川崎市子どもの権利に関する条例」を基に、その具現化を目指してつくられた「子どもの、子どもによる、子どものための施設」です。



▲タワー

2003年(H15)7月にオープンし、今年は15年目になりました。プレーパーク(冒険遊び場)は土や水、火や木材・工具等を使い、子どもたちによって自由につくり変えられる遊び場です。子どもの「やってみよう」気持ちを大切に、自主的・自発的活動を支援し、運営や遊具の製作・設置・撤去、イベントの開催等に子どもたちの意見を聴き、一緒に取り組んでいます。ぜひ、遊びに来てください。(月・水・土・日曜日は、火と工具を使える日です)

平成30年度 主な事業

- ◆ 7月16日(月・祝) 夢パまつり2018
水と泥がたっぷりの1日遊べるイベントです。15周年をみんなで祝いします。
- ◆ 7月開催予定 KUJIROCK
中高生達が企画・運営するライブイベントです。
- ◆ 11月4日(日) こどもゆめ横丁2018
子どもたちのつくった街が出現。お店も商品も子どもたちの手作りアイデアいっぱいです。
- ◆ 12月23日(日) クリスマスイvent
みんなでクリスマスの雰囲気を楽しみます。
- ◆ 1月上旬 初夢!新春イベント
おもちつき・どんど焼き等、お正月の文化を体験できます。

麻生区

麻生市民館

小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩3分 Tel 044-951-1300



▲麻生市民館

ラリーが同施設内にあり便利です。

駅から近い便利な施設

麻生市民館は駅から近く、麻生区総合庁舎内の麻生文化センターにあります。図書館、市民館、市民ギャラリー



▲市民館廊下

地域の魅力を多彩に発信

市民館では毎年度、市民が提案・企画する学級・講座・イベント等の事業を協働で開催しています。地域課題への取り組みや、地域の魅力を伝える活動が行われます。事業成果は「報告会&交流会」で発表され、参加者同士の交流や学びのステップアップへと繋げています。



▲報告会&交流の様子

市民を支援・市民と協働

市民館では養成講座修了者がサークル活動や生涯学習について情報提供と学習相談を行っています。職員は市民の学習意欲への支援や地域の要望を拾うように努めながら市民と協働してまちづくりを行っています。



▲職員の皆さん

事業のご紹介(一部)

- ◆障がい者社会参加学習活動「麻生青年教室」
- ◆子育て支援啓発事業「子育てフリースペースよち・わく・のび」
- ◆学習情報提供・学習相談事業「生涯学習相談コーナー」
- ◆開館時間 9:00~21:00
- ◆休館日 毎月第3月曜日(国民の祝日の場合はその翌日)・年末年始・施設点検日



2018年度 生涯学習財団の主な事業

公益財団法人川崎市生涯学習財団は、市民の皆様の生涯学習の支援や高度で専門的な学習ニーズに対応した学習の場を提供するとともに、学校やNPO法人、民間の方々との多様な連携により事業展開しています。



▲生涯学習財団

1 学習機会と施設提供

① かわさき市民アカデミー協働事業

市民大学「かわさき市民アカデミー」の支援

② ふれあいサマーキャンプ

友好自治体との交流を通じた児童・生徒の健全育成



③ キッズセミナー・子ども陶芸教室

夏休みに「おもしろ科学」「わくわく造形教室」「陶芸」等、楽しく充実した学習活動を提供

④ 施設の提供

生涯学習プラザ施設（フィットネスルーム、会議室等）を学習会・ミーティング、軽いスポーツの場として提供

2 学習活動支援

シニア世代の市民を含め、学習成果を地域社会づくりや学校支援に生かす

① 生涯学習ボランティアの養成・派遣

生涯学習ボランティアとしてコンピュータ操作・特別支援教育・保育等の養成講座を開設、修了者を学校等に派遣

② 市民アカデミー地域協働講座の実施

認定NPO法人かわさき市民アカデミーと協働で、地域関係機関、地域団体・企業等と連携し、地域に密着した講座を開設

③ シニア活動講演会の開催

シニア世代が地域で生き生きと活動するための支援

④ その他支援活動

ロビーコンサート、ママカフェ

3 学習情報収集・提供

① 生涯学習情報の収集とホームページ「かわさきの生涯学習情報」による情報の提供

② 生涯学習情報誌「StageUp」の発行

③ 様々なメディアを活用した情報提供

4 指定管理施設の管理・運営

大山街道ふるさと館・子ども夢パーク

5 青少年育成事業

地域の寺子屋事業

6 多彩な体験講座事業

スポーツ・文化・陶芸の各教室開催



2018年 川崎市生涯学習プラザ

春の☆キラリ文化教室のご案内

	講座・教室名	日時・曜日
1	楽しく歌の教室	5/15・22,6/12・19,7/10(火) 13:20~14:50(5回)
2	ワインを気軽に楽しむ	5/9・23,6/6,20,7/4(火) 14:00~15:30(5回)
3	風景写真教室 ～初夏の花々を撮る～	5/10・17・31,6/7・21(木) (実習予備日5/24,6/14) 14:00~16:00(5回)
4	色えんぴつ画入門	5/21・28,6/4・25,7/2(月)(実習 予備日6/18)14:00~15:30(5回)
5	落語入門	5/25,6/1・15・29,7/6(金) 13:30~15:30(5回)
6	筆ペンから始めよう	5/11・25,6/8・22,7/6(金) 10:00~11:30(5回)

<会場>生涯学習プラザ会議室 他

<定員>各教室20名程度(15歳以上の方、ワインを気軽に楽しむは20歳以上)

<受講料>4,500円(別途教材費)

<申込締切>各教室とも4月20日(金) 必着

☆方法:①ハガキ(教室名・住所・氏名・電話番号)

②直接プラザ窓口 ③TEL 733-6626 FAX733-6697 受付

☆受講料払込:抽選結果と共に案内を4月20日以降に郵送

☆応募多数の場合は抽選、人数により中止もあり

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

生涯学習財団文化教室担当



◆お楽しみコーナー

クイズに答えよう!



Stage Upの表紙が今月号より「インターネット川崎ガイド」シリーズとなりました。表紙の写真はどこでしょうか。下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『生田緑地○○苑』

【応募方法】

①答え ②〒・住所 ③氏名 ④Stage Upの入手場所
⑤今号の誌面でよかった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 2018年4月30日(月) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

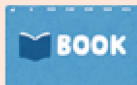
〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

E-mail stage-up@kpal.or.jp

TEL 733-5811 FAX 739-0085

※個人情報、は発送業務以外の目的では使用しません。



☆220号のクイズの答え・・・K S J

2018(平成30)年度 川崎市生涯学習財団 主催及び共催の講座・イベント 年間予定表

今号の7ページで紹介した2018(平成30)年度 生涯学習財団の主な事業の中から、財団が主催(共催)している主な講座やイベントの開催時期を一覧にしました。開催時期の2~3ヶ月前から募集を行っていますので、講座申込み等の参考にしてください。大勢のご参加をお待ちしております。

	2018 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2019 1月	2月	3月
地域協働講座 (財団主催)	かわさき市民アカデミー 地域協働講座 前期						かわさき市民アカデミー 地域協働講座 後期					
シニア/ 養成講座	寺子屋先生養成講座 1期 2期 3期			寺子屋先生養成講座 4期 5・6期 7期 8期 9期			特別支援 ボランティア 養成講座			シニア(予定) 活動 講演会		保育 ボランティア 養成講座
キッズ/ 子育て	なかはらママカフェ			キッズ セミナー ふれあい サマー キャンプ	子ども 陶芸 教室	※宮城県以外は3泊4日 島根県(7月21日~)、和歌山県(7月24日~)、宮城県(7月29日~※2泊3日)、岩手県(8月3日~)、長野県(8月6日~)、北海道(8月19日~) 受入交流(8月22日~24日)			なかはらママカフェ 毎月第4木曜日 10:00~11:20 (7月、8月、3月はお休み)			
スポーツ/ 健康	ベビーリトミック/ からだを使って 英語で遊ぼう 第1期			ベビーリトミック/ からだを使って 英語で遊ぼう 第2期			ベビーリトミック/ からだを使って 英語で遊ぼう 第3期					
スポーツ/ 健康	スポーツ教室 第1期			スポーツ教室 第2期			スポーツ教室 第3期					
教養/ 文化	春の☆キラリ 文化教室			秋の☆キラリ 文化教室			冬の☆キラリ 文化教室					
教養/ 文化	初心者 陶芸教室 春の教室			初心者 陶芸教室			初心者 陶芸教室 冬の教室					
教養/ 文化	陶芸教室(水・土) / 陶芸「一般開放」 (木・金) 第1期			陶芸教室(水・土) / 陶芸「一般開放」 (木・金) 第2期			陶芸教室(水・土) / プラザ陶芸「一般開放」 (木・金) 第3期					
教養/ 文化	ランチタイム ロビーコンサート			ランチタイムロビーコンサート 毎月1回 12:10~12:40 (8月はお休み)								